

平成 29 年 7 月 南大泉図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 29 年 7 月 28 日（金） 14 時 40 分から 15 時 20 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館（以下「光」） 光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員（2）、事業統括係長、子供事業統括係長</p> <p>(2) 南大泉図書館指定管理者（日本コンベンションサービス株式会社）（以下「南大」） 南大泉図書館長、同館業務従事者（3）、本社スタッフ（2）</p>
内容	<p>① 施設管理について</p> <p>（光）排煙窓の雨漏りの状況は →（南大）応急処置を終えた。部品が簡単に手に入らないため、完全に修理は出来ていないが、排煙窓の機能に問題はなく、雨漏りも発生していない。</p> <p>（光）6 月にあったコミュニティホールが暑いとの苦情について →（南大）光が丘図書館経由で連絡が来た苦情だが、南大泉でそうした内容の苦情を受けた事はこれまでなく、初めて。天窓があるため太陽光は差し込む。</p> <p>② 事業計画について</p> <p>（光）5 月に状態が悪く虫の付いた本がリサイクル棚に置かれていた件について →（南大）リサイクル棚に本が山積みになっていたため、一部を事務室に運んでいる途中に虫が付いていることに気付いた。その後、資料は処分し、リサイクル棚に個人の資料を廃棄しないよう表示をしてからは、同様の事例は発生していない。</p> <p>（光）5 月開催の「図書館を 2 倍楽しむ！レファレンス体験」について →（南大）新たな本と出会えるよう、本の探し方を紹介したいと思い、初めて開催したもの。本の分類等を説明した後、レファレンス問題にチャレンジしてもらった。昨年度、書架構成やカウンターバック等を見学してもらう図書館ツアーを 2 回開催したので、今年度はその内の一回をレファレンス体験とした。参加者からは「こんな探し方があったのか」と大変好評だったが、レファレンスという言葉が硬く感じられたのか、参加者が少なかったことが反省点。事業のネーミングについてもよく考えたい。</p> <p>（光）6 月開催の「リサイクル市」について。光が丘のリサイクル市と比べて盛況だ。 →（南大）昨年は 8 月に一回目を開催したが、コミュニティホールで待っていただく間の暑さ対策もあり時期を早めた。一人 10 冊までとし、用意した約 2 千冊の内、約 1,800 冊を配布出来た。残った本はリサイクル棚に置いている。</p> <p>（光）「今日は何の日？」文庫について。利用率がとても高い。 →（南大）毎日が何かしらの記念日であり、その記念日にちなんだ資料を書名が分からないようにして提供している。6 月は 30 日分、30 冊を用意し、全て貸出があった。スタッフ内で分担して、本を探しているが、今後も貸出につなげていきたい。</p> <p>（光）資料のテーマ展示を数多く行っているが、一番人気がある展示は。 →（南大）各事業で使用した本や関連した本を、事業の紹介とともに再度展示するコーナーの貸出率が非常に高い。昨年度の利用者懇談会で「事業に参加した際は借りていけない</p>

が、後日借りやすいよう一定期間、資料を展示して欲しい」との声があり、これに応じて設置した。

(光) 読書ノートの配布方法は、

→ (南大) 自由配布にするとすぐに無くなってしまうため、読書週間まではカウンターで一人一冊配布している。

### ③ 児童サービス事業について

(光) 「青少年プロデュース」について

→ (南大) 学校支援校の生徒に依頼して、生徒が選んだ資料にポップを付けて展示している。

→ (光) 他館で実施例があるが、学校の垣根を越えて、意欲のある生徒を集めて何か活動するのもよいのではないか。活動を継続することで将来的に館の事業に関わったり、おはなし会の読み手として参加したりすることも、面白い試みになると思う。

(光) 青少年向けホームページ内の「オリンピック・パラリンピック特集」の取組について

→ (南大) 5月13日に光が丘区民センターで行われた「東京2020オリンピック・パラリンピック フラッグツアーフラッグ歓迎セレモニー」の様子を7月1日に掲載した。また、オリンピックの歴史を振り返る記事の掲載や関連資料の紹介も行っている。

4月に掲載したパラリンピックマラソン選手の記事は、大泉第二中学校で選手が講演を行うとの情報があり、取材した。次回の取材は8月から開始する予定で、車いす競技を取り上げようと考えている。競技用の車いすを製造している会社に取材をし、10月に掲載する予定。また、その会社にパラリンピックの金メダリストが在籍しているため、合宿中の様子を取材し1月に掲載する予定。

一方、青少年向けホームページでは、日常生活における「こんなことあるよね？」をテーマに共感できる資料の紹介、仕事をテーマにした資料の紹介を行っている。6月からは、「読んで四コマ」と題して、四コマ漫画を使ったお薦め本の紹介も始めている。

(光) 5月開催の「青少年向け映画会」について

→ (南大) 年1回開催している。上映権のある映画の中で若い世代が振り向いてくれるものを見つけるのが難しく、また、対象となる中高生に来てもらうことも難しい。

(光) 本館で5月に開催した「えいごおはなし会」について、分室事業との違いは、

→ (南大) 分室で行っている「えいご de おはなし会」は大好評だが、本館での英語によるおはなし会の実施は初めてとなる。本館では、3歳以上と分室よりも少し上の年齢層を対象としている。そのため分室の参加型と比べると、一人で大人しく聞ける年齢ということで、英語絵本の読みきかせが中心。参加者は分室よりも少人数となるが、より絵本の力で読みきかせをしていきたい。